

第13回まちづくり市民会議議事録

- 日 時 平成22年4月15日（木） 午後6時30分～8時30分
■場 所 太田市役所10階 政策推進会議室
■出席者 西村会長、福田副会長、秋山委員、青木委員、新藤委員、高倉委員、
棚澤委員、塚田委員、徳永委員
星野企画部参事、田中企画政策課長補佐、小川主任

(委員9名、市3名)

【概要】

1. 歴史（産業遺産・文化遺産）について

- ・市内にはB級の史跡や文化財がたくさんある。
- ・歴史遺産をA級、B級に分けることは難しい。
- ・ボランティアガイド（以下、ガイド）は沢山いるが、観光客との接点がない。商業観光課や観光協会のホームページにもガイドのことは掲載されていない。市や観光協会はガイドを活用すべきである。
- ・ガイドは個人の趣味の領域で活動しており、敢えて市側に、自分たちをもっと活用するような働きかけをすることはあまりない。
- ・合併前の尾島町や新田町では、町が年に1回程度ガイドを集めて様々な話をする連絡会があったが、合併後の太田市ではなくなってしまった。
- ・フリーで訪れた観光客を案内するガイドの拠点が必要である。候補地としては金山ガイダンスセンター、道の駅、太田駅にある観光案内所があげられる。
- ・観光案内所は外から中が見えず入りにくく、排他的な印象がある。
- ・観光客にとって、ガイドがいるかいないかで、資料や史跡の見方がまったく変わってくる。
- ・中島旧邸は歴史的な価値もあるが、建築物としての価値もある。長期間管理されておらず修繕の必要があるが、費用の面から難しい状況である。
- ・中島旧邸を安く改修し、映画のロケ地として活用できないか。
- ・他の地域との交流の中で太田市について発信してもらうことはできないか。
- ・まんが太田の歴史や市民憲章カルタを活用する。

2. 第1期まちづくり市民会議の提言の検証について

- ・第2期まちづくり市民会議として、第1期提言の検証を行うこととする。
- ・5月の会議の中で検証する。時間が不足する場合は6月以降の会議でも検証する。
- ・1項目ごとに検証する。提言が実現されているか否か、提言に対する実施状況が「検討する、協議中」等のものに関しては、「いつまでに検討するのか」といった検証方法とする。
- ・事務局は第1期提言について、行政側から見て、「効果が出ている提言」等の観点でピックアップする。

3. 環境のチーフ選出について

- ・環境チームのチーフを西村会長とする。

4. その他

- ・次回の会議も引き続き、歴史（産業遺産・文化遺産）を検討する。
- ・各委員は5月14日（金）までに「環境（緑、水、エネルギー）」をテーマにレポートを作成し事務局へ提出する。

【次回の会議】

日時 5月20日（木） 午後6時30分～

場所 太田市役所10階 政策推進会議室